

在京花巻人会 7月20日理事会議事録

出席者； 板垣、伊藤、菊池、佐々木（健）、佐々木（哲）、須藤、瀬川、高橋（勉）、高橋（良）、多田、千葉、福井

第1議題 「第38回 在京花巻人のつどい」についての反省点

- 1, 事前の準備作業の反省点
ご案内チラシ、プログラム、各種印刷物、ハガキ、鑑などの作成については大きな問題はなかった。市との連携やお土産・ワインの発注も問題無し。
- 2, 当日の開始前の準備や受付作業の反省点
袋詰めから受付の設営や名簿・名札などの準備も大過無く出来た。受付は人員不足があり次回から増員が必要、べんべろ会員に手伝ってもらい助かったところがあった。また、次回から来賓受付を担った石黒・山口両氏が引退するとのことで、補充が必要となる。
- 3, 当日終了後の撤収作業の反省点
受付などの撤収や事務所返却用段ボール荷造りなどを今回は良光さん、畠山さん、健一さんが中心となって行った。次回は役割り分担を決めて対応する必要あり。事務所での受け取りの件は後述。
- 4, 総会・懇親会の運営とアトラクションについての反省点
総会の短縮化、朗読劇の適正な時間での進行により懇親会の時間不足はあまり感じられなかった。江川氏の現代尺八、相撲甚句、内村さんの詩吟、精神歌斉唱、菊池さんのエールなど概ね好評であった。会長以下理事が、多くの出席者と十分会話が出来ていなかったのではとの声があり、次回は計画的に会話を促進する方策を検討したい。食事は、質的には問題なかったが量が少なかったとの意見が多く、今回食事は80名でオーダーしたが、次回から食事数については再検討の要あり。
- 5, 朗読劇についての反省点
多くの方から良かったとの反応あり。新しいことに挑戦したことを評価する声もあった。岩手山役のマイクの音量を上げ朗々とした朗読にしたかったが指示を忘れたとのと、参加者に岩手山役が後ろに居ることを知らせなかったことも反省点。（但し、正面舞台の朗読のマイク音量調整は大変良かった。）べんべろの会員の朗読も素晴らしく、参加者も挙って参加してくれた。べんべろ会員が懇親会でも参加者と交流してくれて、大変協力的で盛り上げてくれたことに感謝。べんべろ会員からも在京花巻人会の色々な配慮への感謝のメッセージ（言葉と葉書で）を頂いた。
- 6, 二次会についての反省点
34名の参加で、赤字なく終了出来た。誘導やお店のお酒と料理にも問題なく、料理は美味しいとの声すらあった。事前の打合せと

交渉が効果的だったと評価された。また、進行では全員にご挨拶頂いたことで盛り上がり、参加者には満足頂けたと思う。カラオケの3次会は、高橋（勉）理事が突然の雷雨の中にもかかわらず会場探しをして、十数名が楽しんだとのこと。

7, 役割分担についての反省点

上記の受付などの撤収と荷造りの担当が必要、それに事務所で荷物の受け取りと内容物の整理の担当も必要。（今回は板垣理事が受け取りある程度整理、20日の理事会に前に早めに出てきた理事らにより残りの名札、半纏などを整理・収納した。）また、記述したように次回からは受付の人数増が必要である。

8, 次回に向けて参加者を増やすための活動について

高齢化で、今回が最後の出席だという会員もかなりいたので、次回は参加者減が予想され、動員活動は早めにスタートする必要あり。前回は理事が動員に努め130名を達成したが、来年は更に理事の動員の努力が必要だが、理事の増員も必要との意見も出た。また、花巻出身ではない花巻ファンや（べんべろの会との関係がそのためにも重要）菅原さんのような花巻生まれではない2世、3世へのアプローチも必要であり、高校の同窓会への入会プロモートと合わせて「つどい」への参加をお願いする活動も活発にやる必要あり。

9, ガーデンパレスへの支払いの報告（良光さんより）

ガーデンパレスには90万円の支払い、ほぼ食事代と飲料代だけでかなり勉強してもらった。今回は9千円会費だったため、会の予算からの支出は6万円のみで収支が合った。次回の日取りについては、1週遅れの7/12、1週早い6/28を交渉したが、すでに埋まっており、7/5（土）に開催することとした。

第2議題 今後の会の運営体制について

1, 令和7年度に向けての会長人事について

① 瀬川会長の任期について

瀬川会長より今年度で退任したいと申し出があった。但し、来年の「つどい」までは会長としての任務を遂行するとの事。理事からの意見として退任後の体制づくりや引き継ぎなど十分対策した上で退任するよう要望があった。また、複数の理事より基本的には退任を容認せざるを得ないとの発言もあったが、この件は引き続き検討していくことが必要。

② 次期会長選出について（現理事の中から互選で選出）

瀬川会長より、現理事なら誰でも会長を担う力量を持っていると思うので、外部から会長を招聘することは考えていない。今後、現理事が来年度に向けて理事の中から会長を互選で選出して欲しいとの要望があった。

2, 瀬川会長及び瀬川体制の問題点

① 会長の活動をサポートする作業と人材について

瀬川会長より、会の運営に関する作業の中で会長の活動を支える作業は、これまでその多くを板垣理事に担ってもらったが、頼り過ぎたことによって板垣理事の作業が膨大になり、引き継ぎに混乱をもたらしたのは否めない事実との発言があった。

(その原因として、板垣理事在任中に会の運営の作業を担っていた何人かの理事が逝去したこと、又、PCを持たない年代の理事が多かったことなども考えられる。) そのような問題点の反省の上に立って、まずは誰にどう引き継いでもらうか改めて早急に検討し、さらに来年度に向けて次期会長と新しい体制に引き継いで行きたいとのことであった。昨年3月に定めた「組織及び担当表」も、今後各理事の個人的事情ややりたい分野などを十分にヒアリングし勘案した上で来年度に向けて作り直したいとの発言もあった。板垣理事には、まずは会報の作業をもう暫くは手伝って頂くことと、特に会長サポート作業の引き継ぎも暫くの間さらに続けてもらうようお願いし了承された。

② 瀬川会長のマネジメントの問題について

会長から、独断的な理事会の運営や、高齢による体力・知力の低下が原因と思われる様々な判断ミスや不手際(即ち老害)があり、退任を決意したとの説明があった。一方、理事からの批判も耳にしているということであり、実際に当理事会でも理事から会長の理事会運営の態度が良くないとの批判も出た。会長としては、今後新たな会長を選出し理事会を運営していく上で、現理事の皆さんに本音で話し合ってもらうために、敢えて自らの問題点と頂いた批判について説明したとの発言もあった。

③ 令和7年度の組織・体制について

会長より、既に記述したように来年度に向けて新しい会長を選出していくと同時に、改めて会長退任を想定して理事会の組織・体制を検討し、残った今年度内で決定し実施していきたいとの表明があった。

第3議題 会報73号(10月号)作成について

1、会報作成のスケジュール

会報73号の作成スケジュール(予定)は、
8/3(土)14時~理事会で記事内容表を提案

8/16(土)原稿締め切り

8/31(土)14時~理事会で第1校検討

9/14(土)14時~理事会で第2校検討

9/28(土)編集会議で第3校検討→最終校へ

10/11(金)13時~理事会、会報発送

2、会報73号の編成方針について

特に意見無し。

以上